

温泉療養効果実証調査報告会・温泉フォーラム in 妹背牛



昨年9月、温泉モニターを募り、週一回、週2回の温泉入浴モニター、温泉水を飲む飲泉モニター50名が3月間に渡りペペルの湯の実証調査に協力を頂きました。その調査結果を報告する「温泉療養効果実証調査報告会・温泉フォーラム in 妹背牛」が、3月5日、町民会館において開催されました。町内外からおおよそ250名が来場。調査結果をまとめ今回の報告会に臨んだ温泉教授の松田忠徳さんは、「老化・病気の原因となる活性酸素を減らす効果が出ている。入っても、飲んでもいい温泉だということが今回の調査で立証された」と報告されました。

その後、行われた温泉フォーラムでは、温泉を使いどのように集客できるかという論点で、様々な部門のコーディネーターより提案がありました。妹背牛は駅があり鉄道が通っているので、温泉と鉄道をコラボさせた利用、また珍しいカーリングホールがあるのでそこと温泉を組み合わせた観光提案などいろいろな意見が出されました。また、駅での温泉のPR、ペペル独自のホームページの作成などのアドバイスもありました。



トロフィーと受賞作を手に笑顔の下谷さん

全国学生書道展下谷さん最高賞

第48回全国学生書道展、応募総数6,004点の中から、下谷可菜子さん（中学2年生）の作品「美化週間」が最高賞に輝きました。

「美」の文字が難しかったと自身の作品を振り返ります。小学2年の時に、自ら書道を学びたいと教室に通い始め、中学に入ってから勉強に部活動にと多忙な中でも、書道の練習は休まず続けています。

「先生に褒められるのが嬉しいから頑張れる」とニコリ。

書道を指導している松田香洋さんも「一画一画自然で確かな運筆。とても素直で明快な作品」と高評価。また、同じく小学校から始めたバレーボールでは、北空知の中学女子選抜チームのメンバーで、芦別市で開かれる北海道中学生バレーボール優秀選手選抜大会に向け、練習に励んでいます。バレーと書道どちらが好きかとの問いには、「両方好きなので、これからも続けていきたい」と目を輝かせていました。

「妊娠したから解雇、育休を取ったから契約更新をしない」は違法です！

- 妊娠・出産、育児休業・介護休業等を取得したことを理由にして、事業主が解雇、退職の強要、雇止め、降格などの不利益な取り扱いは、「違法」です。
- 事業主は妊娠・出産、育児休業等に関して上司・同僚がハラスメントを行わないよう防止措置を講じなければなりません。

詳細は、北海道労働局ホームページをご覧ください。

厚生労働省北海道労働局雇用環境・均等部指導課

TEL 011-709-2715

<http://hokkaido-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp>